



北陸地方整備局
飯豊山系砂防事務所

【配布先】

- ・新潟県政記者クラブ
- ・新潟県新県政記者クラブ

記者発表資料

発表日	令和5年5月24日
取 扱	本資料配付をもって解禁

新潟大学の学生が砂防を学ぶ

令和4年8月3日からの大雨で被災した荒川流域の状況を調査します

鍬江沢川流域は昭和42年羽越水害において土石流による甚大な被害が発生した箇所ですが、昨年8月の大雨では下土沢砂防堰堤をはじめとした砂防施設が効果を発揮し、被害を軽減したところではあります。そこで、鍬江沢川をフィールドとし、砂防を学ぶ新潟大学農学部・理学部の学生が砂防の目的・効果・意義への理解をより深めるため、現地調査を行います。

日 時:令和5年5月27日(土)10:00~15:00(予定)

場 所:荒川支川鍬江沢川流域

うち、取材可能な箇所は、下土沢砂防堰堤(新潟県岩船郡関川村下土沢地先)となります。※別紙参照

参 加 者:新潟大学農学部 学生18名、教員1名 計19名

見学内容:災害復旧工事、土砂・流木捕捉状況 ほか

- 下土沢砂防堰堤での見学(10:00~11:00)について取材を受け付けます。希望される方は、5月26日(金)までに事前にご連絡いただけるようお願いいたします。
- 安全確保のため、現場にはヘルメット、長靴を持参し着用してください。
- 当日、発熱などの症状がある方は来場をお控えください。



新潟大学の皆さんには、昨年10月に発災直後の現場状況も確認いただいています。

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 飯豊山系砂防事務所

Tel:0238-62-2566(代)

副所長(技) 越野 正史 (こしの まさふみ)

調査課長 梅田 ハルミ(うめた はるみ)

※本資料は事務所ホームページ(<http://www.hrr.mlit.jp/iide/>)でもご覧いただけます

飯豊山系砂防事務所 HP



【位置図】



参考 【下土沢砂防堰堤での施設効果事例】

8月3日から4日にかけて、連続雨量562mm、時間最大雨量148mm(下関雨量観測所)という記録的な大雨により土石流が発生しましたが、砂防堰堤が整備されており土砂及び流木を捕捉し、下流保全対象への被害を未然に防止し効果を発揮しました。

